

# I 平成 11 年度本県児童生徒の発育・健康状態の状況

## 1 調査結果の概要

### (1) 発育状態

- 平成 11 年度の児童生徒の体格を全国平均値と比較すると、身長・体重については男女とも全ての年齢で全国と同じか上回っている。座高については、15～17 歳女子が全国を下回っているが、それ以外では全国と同じか上回っている。  
なお、女子の体重は上回る傾向が強い。
- 身長においては、男子の 11 歳及び 14 歳の各年齢で、女子の 10 歳で過去最高となっている。
- 体重においては、男子の 8 歳及び 14 歳の各年齢で、女子の 10 歳及び 12 歳の各年齢で過去最高となっている。
- 座高においては、男子の 11 歳から 14 歳までの各年齢で、女子の 10 歳及び 12 歳の各年齢で過去最高となっている。
- 本県の年間発育増加量の最大の時期は、男子の体重が全国より 3 年遅いが、他は同じである。

#### <年間発育増加量の最大の時期>

	本 県	全 国
身 長	男子：11～12 歳(中 1)の間 (7.3 cm) 女子：10～11 歳(小 6)の間 (5.4 cm)	男子：11～12 歳(中 1)の間 (7.4 cm) 女子：10～11 歳(小 6)の間 (6.7 cm)
体 重	男子：14～15 歳(高 1)の間 (5.4 cm) 女子：11～12 歳(中 1)の間 (5.4 cm)	男子：11～12 歳(中 1)の間 (5.7 cm) 女子：11～12 歳(中 1)の間 (5.0 cm)
座 高	男子：11～12 歳(中 1)の間 (3.7 cm) 女子：10～11 歳(小 6)の間 (3.4 cm)	男子：11～12 歳(中 1)の間 (3.6 cm) 女子：10～11 歳(小 6)の間 (3.3 cm)

### (2) 健康状態

- 本県の疾病・異常の被患率等の中で最も高いものはむし歯(う歯)で、各学校種別の割合は幼稚園 70.00%、小学校 86.27%、中学校 83.42%、高等学校 89.47%となっている。次に高いのは裸眼視力 1.0 未満の者で、幼稚園 17.73%、小学校 31.42%、中学校 48.78%、高等学校 60.34%の順となっており、学校段階が進むにつれて高くなっている。
- むし歯(う歯)の被患率は全体的に減少傾向にあるが、各学校段階全てで全国を上回っている。  
また、12 歳の永久歯の一人当たりの平均むし歯等数(喪失歯及びむし歯)についてみると、前年度と比較して「処置歯数」は増加したが、「未処置歯数」は減少傾向にある。
- 肥満傾向については、小学校と中学校が全国を上回っているが、幼稚園と高等学校は下回っている。
- ぜん息の者の割合は、各学校段階全てで全国を下回っている。
- 心電図異常の者の割合は、各学校段階全てで全国を上回っている。